



ジャガイモ掘り
園児が大喜び
神奈川県相模原市
【神奈川県・相模原】

取れたジャガイモを見せる園児と五十嵐さん（神奈川県相模原市で）

J A相模原市の組合員、五十嵐弘正さん（65）は、都市化が進む相模大野地区で、近隣の保育園や幼稚園に通う園児たちに食農教育活動を行っている。父から活動を引き継ぎ、今年で約16年目。年間500人の園児を

受け入れている。

6月下旬には畑に園児38人を受け入れ、ジャガイモ掘りを行った。園児は小さな手で、夢中で芋掘りを楽しんだ。掘ったジャガイモを手には「先生、こんなに大きいジャガイモが取れたよ」「たくさん出てくるね」と、大きな声で喜んだ。五十嵐さんは「都市

化が急速に進む地域だが、農地は環境保全に大切な場所。これから、子どもたちに土に触れる機会と収穫の楽しさを提供していきたい」と話した。